

一般質問



さんがわ よしえ
寒川 佳枝 議員
公明党議員会



HPVワクチン接種の積極的勧奨を

Q HPVワクチン接種の積極的勧奨に対する本市の見解と取り組み状況は。

A 平成25年より副反応の問題から積極的勧奨は控えられていましたが、令和3年11月に国より、ワクチン接種の有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められることから、令和4年4月よりワクチン接種について個別勧奨を順次実施するよう通知がありました。

本市においては、これまでも本人や保護者にワクチンの啓発冊子やハガキを送付するなど情報提供に努めてきましたが、今後は、国の通知を踏まえ、坂出市医師会の協力のもと、来年度から速やかに個別勧奨ができるよう鋭意準備を進めていきます。
(健康福祉部長)



中学校での制服選択制の導入を

Q トランスジェンダーの生徒への配慮に加え、防犯・防寒等を目的に性別に関係なく自由に制服を選べる制服選択制を導入する公立中学校が増えているが、本市でも導入する考えはあるか。

A 制服の選定や見直しは、最終的には校長の権限において適切に判断を行います。その際には、生徒や保護者等学校関係者からの意見を十分に伺った上で、保護者等の経済的負担が過重なものとならないよう留意し、検討する必要があります。

教育委員会としては、制服の選定や校則の見直しを行うことは、生徒の主体性を育み、共生社会の担い手として「生きる力」を身につけることができることから、有意義であると考え、積極的かつ適切に取り組むよう指導・助言を行っていきます。
(教育長)



のがく みつあき
野角 満昭 議員
無所属



同和対策団体補助金等の今後は

Q 根拠となる法律が廃止されていることから、同和対策団体補助金や研修参加等の補助金を廃止する考えはあるか。

A 様々な人権問題の解決には、当事者の視点を重視し、差別解消に取り組む必要があると考えており、当該運動団体には長年部落差別解消に取り組んできた歴史や経緯があり、今なお部落差別が現存している状況において、本市の人権同和行政を推進するに当たっては、大変重要な役割を担っているものと考えています。

令和3年10月に開催した本市同和对策審議会の答申において、事業の必要性、補助金額の妥当性について一定の評価をいただいたことから、この答申に基づき、引き続き人権・同和問題の解決に向けて取り組んでいきます。
(市民生活部長)

坂出駅前再整備の構想は

Q 坂出駅前をどのように再整備していくかと考えているのか。また、民間活力をどのように導入していくかと考えているのか。

A まちの価値を高め、住みたいまちとして選ばれるためには、本市の顔ともいえる坂出駅周辺の再生が絶対条件となります。

その実現に向け、基軸となる日常的な集客が見込める図書館や子育て支援の機能を持つ複合施設の整備について、早期に事業化すべく、現在、規模・設置場所・機能等の検討を進めています。
また、事業化に当たっては、財政的な負担が軽減されるよう公民連携の手法を導入し、民間事業者が持つ専門的な経営ノウハウや技術力の活用も含め、長期的な視点に立った整備方針の検討を進めていきます。
(市長)

質問の主な項目

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応について
- ・ 新子育て安心プランについて